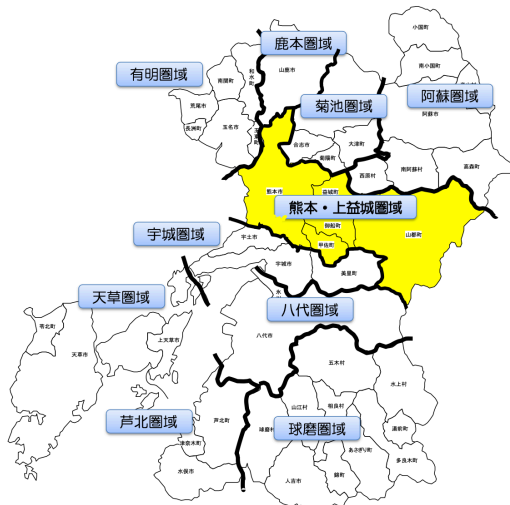


シンポジウムIV 小児在宅医療におけるケアの本質

大学病院が主体となって行う医療的ケア児の全県下の総合的支援



熊本県補助事業
熊本大学病院
小児在宅医療支援センター

特任講師
小篠 史郎 (おざさ しろう)
ozasas@kumamoto-u.ac.jp
096-373-5653
(直通、相談窓口)

2021年7月18日 熊本市市民会館

シンポジウムIV 小児在宅医療におけるケアの本質

小篠史郎 (熊本大学病院 小児在宅医療支援センター)

第26回日本難病看護学会学術集会

COI 開示

筆頭演者名 小篠史郎

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係
にある企業などはありません

シンポジウムIV 小児在宅医療におけるケアの本質

小篠史郎 (熊本大学病院 小児在宅医療支援センター) 「大学病院が主体となって行う医療的ケア児の全県下の総合的支援」

医療的ケア児支援法

公布 2021年6月18日

施行 2021年9月18日

目的 (第一条)

- 1) 医療的ケア児の健やかな成長を図る
- 2) その家族の離職の防止に資し、もって安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与する

基本理念 (第三条)

医療的ケア児及びその家族に対する支援は、医療的ケア児の日常生活及び社会生活を社会全体で支えることを旨として行われなければならない

医療的ケア児支援法

保育を行う体制の拡充等 (第九条)

- 1) 国及び地方公共団体は、医療的ケア児に対して保育を行う体制の拡充が図られるよう(中略)、医療的ケア児が在籍する保育所、認定こども園等に対する支援その他の必要な措置を講ずるものとする。

教育を行う体制の拡充等 (第十条)

- 1) 国及び地方公共団体は、医療的ケア児に対して教育を行う体制の拡充が図られるよう、医療的ケア児が在籍する学校に対する支援その他の必要な措置を講ずるものとする。

医療的ケア児支援センター等 (第十四条)

都道府県知事は次に掲げる業務を**社会福祉法人その他の法人**に行わせ、または**自ら**行うことができる。

- 1) 医療的ケア児及びその家族その他の関係者に対し、専門的に、その**相談**に応じ、又は**情報の提供**若しくは**助言**その他の支援を行うこと
- 2) **医療、保健、福祉、教育、労働**等に関する業務を行う**関係機関及び民間団体**並びにこれに従事する者に対し医療的ケアについての**情報の提供及び研修**を行うこと
- 3) **医療的ケア児及びその家族に対する支援**に関して、**医療、保健、福祉、教育、労働**等に関する業務を行う**関係機関及び民間団体**との**連絡調整**を行うこと

開設1～2年間の広報活動

- 備品購入・プレスリリース・記者会見・パンフレットとホームページ作成
- 保健所所属**保健師**・市町村**保健師**が一堂に会する場 (例 各圏域の保健所にて母子保健についての会合) において**センター開設の紹介**
- **医療・母子保健・障がい福祉・教育・保育**に**関係する県関係課** (医療政策課、子ども未来課、障がい者支援課、県教委) に**面会とセンター開設のご報告**
- 各圏域の市町村 (特に市の規模) の**母子保健・障がい福祉・教育・保育に**関係する課****へ訪問し**面会とセンター開設のご報告**
- **熊本大学教育学部**へ小児在宅医療の講義と実技をさせてもらえないか打診

小児在宅医療支援センターの概要

開設日	2016年12月1日
開設目的	熊本県全体の小児在宅医療・福祉・教育・保育等の支援
財源	地域医療介護総合確保基金(2/3)

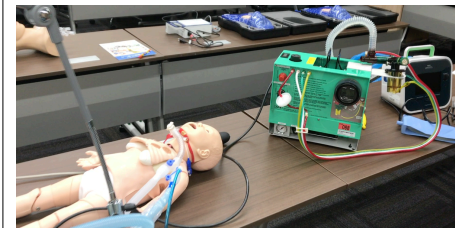
院外のことが
主な仕事

スタッフ

小児科医	2名
保健師	1名
理学療法士	1名
社会福祉士	1名

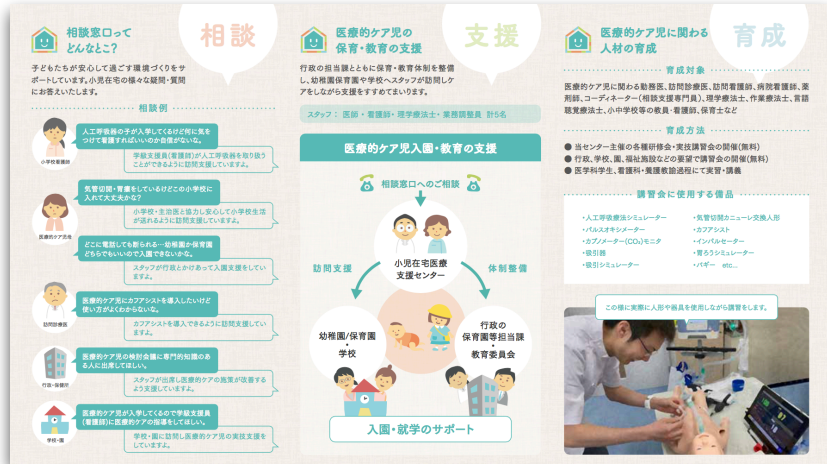


センター所有の備品



- ・人工呼吸療法シミュレーター
- ・パルスオキシメーター
- ・カプノメーター (CO2モニター)
- ・吸引器
- ・吸引シミュレーター
- ・気管カニューレ交換人形
- ・カフアシスト
- ・インパルセーター
- ・胃ろうシミュレーター
- ・バギー



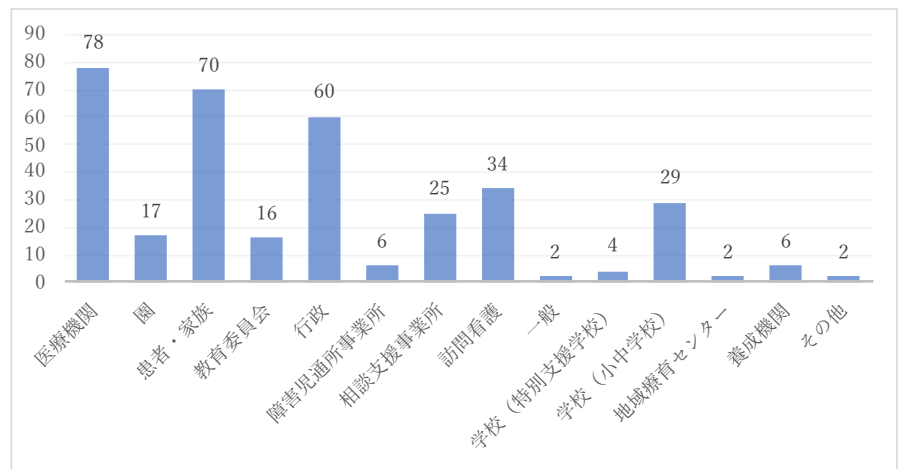


※パンフレットはホームページにて公開しています

小児在宅医療支援センター

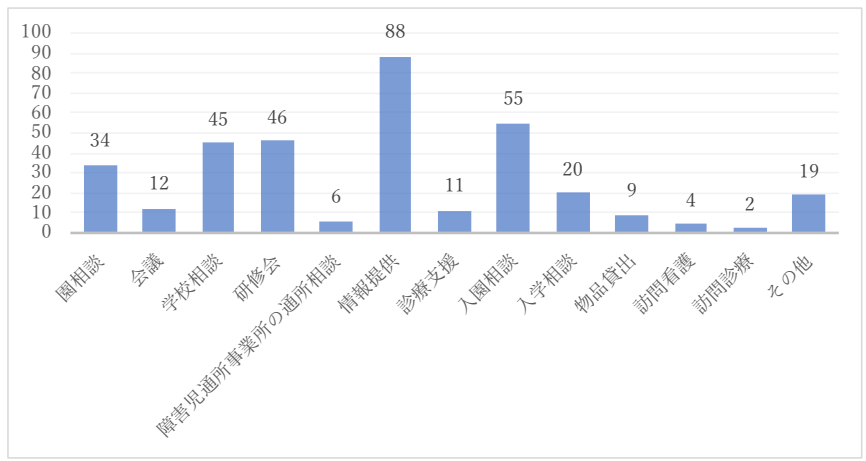
相談窓口によせられた相談の相談元 (3年間)

2017年度~2019年度相談件数 362件



相談窓口によせられた相談内容 (3年間)

2017年度~2019年度相談件数 362件



医療機関からの相談内容

- 訪問看護師から・・・保育園を探したが見つからないので探してほしい
- 訪問看護師から・・・スタッフにNICU・GCUの見学研修をさせてほしい
- 小児基幹病院・NICUから・・・人工呼吸で退院になる見込みの家族に退院後の生活の見通しについてお話してほしい
- 小児基幹病院・臨床工学技士から・・・臨床工学技士向けの医療的ケア児の講演会を開催したいが内容と講師をどうしたらよいか
- 他県の小児基幹病院・看護師長から・・・医療的ケア児の支援方法について看護師長向けにセンターで研修してほしい

当事者からの相談内容

- **家族から**・・・小児基幹病院を退院したばかり。療育を受けたくて行政に相談しても対応が遅いし病院連携室に相談しても療育の行政手続きの仕方も知らないようで話にならない。こんなもんなのか。どうにかならないのか。
- **家族から**・・・小児基幹病院で胃ろうを勧められた。胃ろう手術をするとどうなるのか教えてほしい
- **家族から**・・・私は働かないので幼稚園や認定こども園の1号認定に入園させたいがどこも受け入れてくれない。探してほしい

相談支援事業所・児童発達支援・放課後デイからの相談内容

- **相談支援事業所から**・・・幼稚園に医療的ケア児が入園できるよう手配できた。幼稚園にて実技講習を希望したい
- **相談支援事業所から**・・・保育園を探しているがなかなか受け入れ先が見つからない。まずは行政交えて担当者会議を行うので会議に出席して助言がほしい
- **児童発達支援・放課後デイから**・・・事業所で全スタッフに医療的ケアの実技講習会をしてほしい

行政からの相談内容

- **保健師（市町村）から**・・・気管切開をしている家族の会の情報を知りたい
- **保健師（市町村）から**・・・医療的ケア児が入園できる保育園を探すのを手伝ってほしい
- **保健師（保健所）から**・・・医療的ケア児等コーディネーター養成研修について詳しく教えてほしい
- **教育委員会から**・・・学校看護師を一同に集めるので講義と実技指導をお願いしたい
- **保育園所管課から**・・・公立保育園に通う医療的ケア児と受け入れるスタッフの支援に入ってほしい

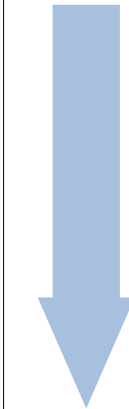
保育園・学校からの相談内容

- **支援学校から**・・・医療的ケア児の支援会議に出席してほしい
- **支援学校から**・・・訪問にて医療的ケア児の様子をみて学校看護師の相談に助言をほしい
- **小中学校から**・・・人工呼吸器を看護師が取り扱えるように実技指導してほしい
- **保育園から**・・・緊急時対応をどうしたらよいか相談に乗ってほしい

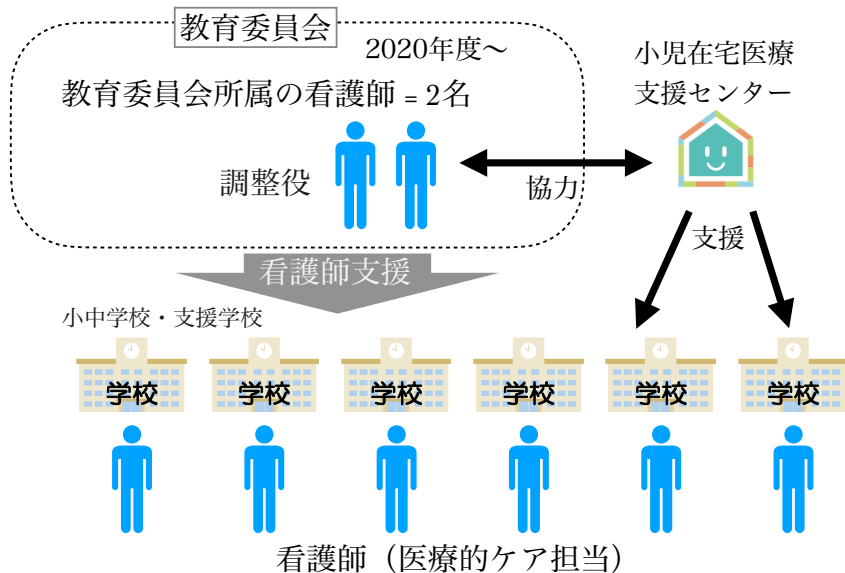
当センターによる入園・入学支援の典型例

※保育園や小学校での医療的ケア児受け入れが初めての場合

- 入園入学支援の相談 (家族・保健師・相談支援専門員・訪問看護師・教育委員会)
- 主治医から情報収集、家族・子どもと初回面談
- 小学校・保育園に同行見学 (保健師や相談支援専門員とともに)
- 小学校・保育園・市役所等にて担当者会議
- 入園入学へ向けて**教員・保育士**向けに医療的ケア実技講習会
- 入園入学直前に配置された**看護師**向けに医療的ケア実技講習会
- 入園入学後に訪問し**教員・保育士・看護師**と面談フォロー



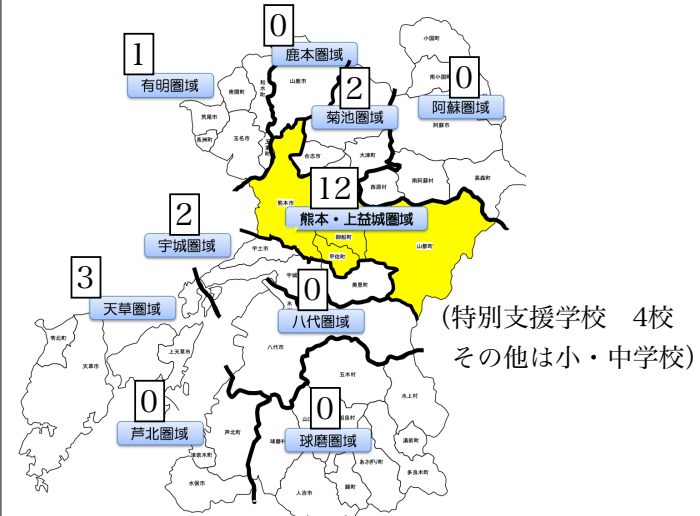
A市教委と当センターの連携



当センターが関わった医療的ケア児等の就学支援

(2016年12月1日～2020年4月22日現在)

就学支援した医療的ケア児等の数

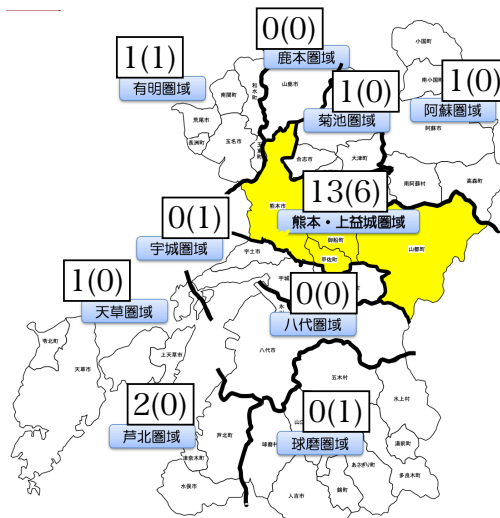


当センターが就園支援を行った医療的ケア児等の就園状況

(2016年12月1日～2020年4月22日現在)

入園確定18名(未確定8名)

(保育園、認定こども園、私立幼稚園、公立幼稚園)



胃ろう	5
経鼻胃管	0
吸引 (口鼻)	1
吸引 (気管)	6
酸素投与	4
排痰補助器	1
人工呼吸器	2
導尿	2
ストマ	2
なし	7

行政（県、市町村）への働きかけ

小児在宅医療支援センターが下記を主催

2018年2月

第1回熊本県医療的ケア児入園支援体制検討座談会

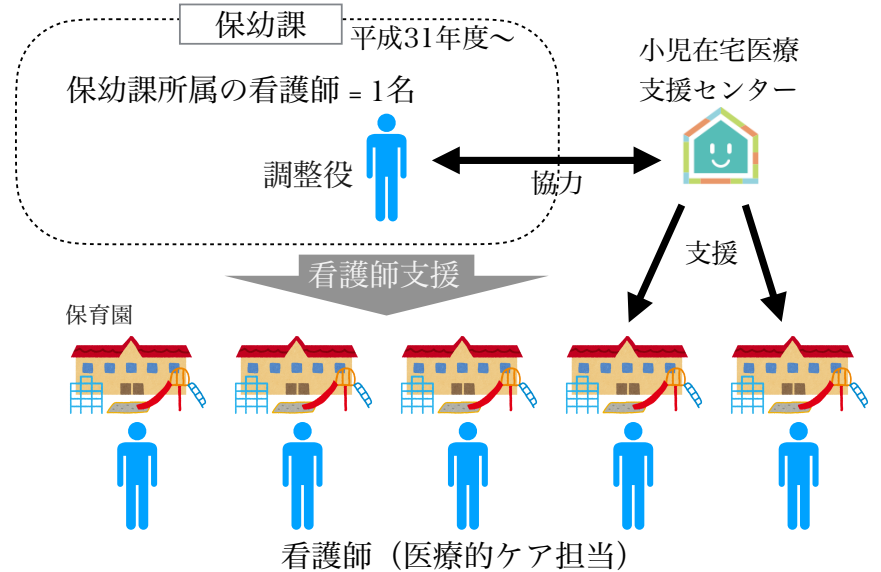
民間保育園等団体、（市）保育幼稚園課、
（県）子ども未来課、（県）私学振興課、（県）教育委員会、
（市）保育園、（県）医療政策課などが参加

2020年2月

第2回熊本県医療的ケア児入園支援体制検討会議

民間保育園等団体、（市）保育幼稚園課、
（県）子ども未来課、（県）教育委員会、（市）教育委員会
（市）保育園、（県）医療政策課などが参加

A市の保育園担当課と当センターの連携



すべての子どもの命が輝くために

会場 つなぎ文化センター

2020年
11月13日(金)
13:30~15:30
プログラム

13:30~(30分)
講 義 「小児の医療的ケアについて」
小児在宅医療支援センター 特任講師 小塚史郎
14:00~(90分)
実 践 ①小児の暮らしのチューブ
②小児の吸引・気管カニューレ
③小児の在宅用人工呼吸機
④小児の嚥食

対 象：看護師
受講料：無料 定員：10名
お申し込み方法
お申し込み期間：2020年11月11日(水)



保育園や小学校で、看護師の指導を受けている子ども達がいます。育ちや発達段階など日常的に医療的ケアを受けている子ども達です。医療的ケア児の中には、保育園や小学校に通いたくても看護師がつかからないなどの課題がいくつかあります。

もう一度皆様のお力を

今は自由がなくても大丈夫です。研修会で一通り学び直しをしていただいても、もし保育園や小学校で働いてほしい方が増えようになればいいです。小児在宅医療支援センターが研修をサポートします。

まずは研修会で目の感覚を思い出してみませんか？ 看護師の指導のお申し込みをお待ちしております。

医療的ケア児看護師研修 in 津奈木

〒969-5603 熊本県津奈木町1589-2
小児在宅医療支援センター 研修
【お問合せ】 096-373-5653

熊本県補助事業 小児在宅医療支援センター
主催：熊本大学病院 小児在宅医療支援センター



看護師スキルアップ研修

医療的ケア児支援センターを立ち上げるにあたって

- 医学部を有する国立大学法人等の大学法人に設置すると医師の全面的協力が得られ、全県下の小児科医・在宅医と連携しやすいので最適と思われる
- 社会福祉法人や都道府県庁に設置する場合も医師の助言・協力が必須なので協力医・指導医を予算化・制度化するのがおすすめ
- 医療的ケア児支援センター開設後は医療的ケア児の入園・入学の相談が多いので行政と連携して医療的ケア児の入園・入学支援体制を整備していく
- スタッフに社会福祉士など非医療職を入れることで保育士や教員など非医療職からの相談が入りやすくなる